＜様式1＞　管理運営状況評価書
【対象年度：令和5年度】　（　②福祉施設　）

　は選択入力項目　　は自動計算のため入力不要

Ⅰ　施設概要・利用情報　　（単位：人、%、円、日）

施設名	掛川市大須賀児童館	担当課名	こども政策課	担当係名	こども政策係

区分		内容 ・ 説明	
1 施設及び指定管理者の状況	(1) 設置条例名	掛川市児童館条例	
	(2) 施設設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。	
	(3) 施設が有する設備、機能の概要	集会室（27.04㎡）、遊戯室（71.86㎡）、図書室（26.00㎡）、事務室、便所	
	(4) 施設建設年度	昭和62年度	
	(5) 耐震性能の有無	有	
	(6) 将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	令和6年度　外部改修工事	3,000万円程度
	(7) 指定管理者名	中部ビル保善株式会社	
	(8) 指定期間	令和3年　4月1日　から　令和8年　3月31日　まで	
	(9) 債務負担行為設定の有無	☑ 設定あり　☐ 設定なし	※設定ありの場合、（期間　令和　3　年度～令和　7　年度）（限度額　109,800千円） ※大東児童館との2館で一括管理
	(10)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営	
	(11)自主事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。
	(12)その他事業の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし	※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。
	(13)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(14)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし	※実施ありの場合、（直近の実施年度　令和　　年度）

区分			R03実績	R04実績	R05実績	R06当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数	（目標値）	13,000	13,000	13,000	13,000	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。
		（実績値）	6,417	9,017	10,930		
	内訳（施設・設備ごと）	児童館	6,417	9,017	10,930		
	(2)稼働率（利用率）						↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）	（定員　　人）	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		（定員　　人）	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
		（定員　　人）	A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	（施設・設備ごと）	（定員　　人）	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		（定員　　人）	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		（定員　　人）	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

区分			R03実績	R04実績	R05実績	R06当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		1,233	896	771		
	(3)運営日数		273	291	291	289	
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0	0.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	2.0	2.0	2.0	2.0	

Ⅱ　施設管理に係るコスト情報　　（単位：円、％）

区分		R03実績	R04実績	R05実績	R06当初予算額	備考
(1)運営コスト（A）	①人件費	7,377,529	6,823,515	6,993,730	7,614,200	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	56,230	53,278	44,965	77,000	
	④事務用品、旅費、図書費など	32,917	72,705	49,958	99,000	
	⑤借上料	197,472	197,472	192,451	199,100	
	⑥保険料、消費税（租税公課）等	111,798	757,622	984,319	110,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	138,918	176,181	165,831	299,200	
	計	7,914,864	8,080,773	8,431,254	8,398,500	
	対前年度増減率		2.1	4.3	△ 0.4	
区分		R03実績	R04実績	R05実績	R06当初予算額	備考
(2)施設コスト（B）	①管理委託費(外注費)	0	0	0	0	
	②修繕費	93,104	96,800	112,000	110,000	
	③光熱水費	544,614	532,896	454,655	550,000	
	④燃料費	6,550	0	0	22,000	
	⑤清掃費	157,511	103,191	164,944	220,000	
	⑥保守点検費	263,638	321,750	286,550	0	
	⑦その他(施設消耗品)	522,144	461,195	424,584	220,000	
	計	1,587,561	1,515,832	1,442,733	1,122,000	
	対前年度増減率		△ 4.5	△ 4.8	△ 22.2	
(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）		9,502,425	9,596,605	9,873,987	9,520,500	
(4)合計のうち運営コストの割合		83.3	84.2	85.4	88.2	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する		0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合						

Ⅲ　収支差額の状況　　注)【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　　（単位：円）

区分	R03決算額	R04決算額	R05決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	9,520,500	9,520,500	9,520,500	
収支差額　a)－b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区分	R03決算額	R04決算額	R05決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（ a－トータルコスト）				
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）				

(3)自主事業及びその他事業の状況　　（単位：円）

区分	R03決算額	R04決算額	R05決算額	備考
a) 自主事業の収入	126,050	182,570	194,059	
b) 自主事業の支出	251,979	387,490	515,478	
収支差額　a)－b)	△ 125,929	△ 204,920	△ 321,419	
c) その他事業の収入	2,451	52,062	54,316	受取利息、コピー代、電気ガス高騰給付金、児童館連合
d) その他事業の支出				
収支差額　c)－d)	2,451	52,062	54,316	

Ⅳ 担当課による評価

（1）施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	2	
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

（2）協定書に記載した業務要求水準の達成度 ＜達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点＞

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%	100	3	
B サービス内容の満足度	90%	98	3	
C 従業員応対の満足度	90%	100	3	
D 施設安全対策の満足度	90%	96	3	
E 美観・清潔感の満足度	90%	98	3	
F 施設の利用者数	13,000	10,930	2	【達成できていない点・主な課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大期に減少した利用者が、感染症レベル5類移行後も元の水準に戻っていない。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・遊具の入れ替えや、SNSでの広報を行い、児童館の周知を図る。

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

（3）収支の改善状況　※収支差額が赤字は0点、収支差額が黒字は1点から3点としてください。

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	0	【達成できていない点・主な課題】 ・主な利用者である子育て親子、小中学生から利用料等の徴収を行わない ため、収支差額が赤字となっている。当該施設は、健全な児童育成の観点で有益な施設であると考える。
2	前年度と同等の収支状況になっている。		
1	前年度より収支状況が縮小している。		
0	収支差額が赤字となっている。		

（4）安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	【達成できていない点・主な課題】 ・ 施設や設備の老朽化が進んでいる。 【いつまでに、どのように対応するか】 ・ 職員の中で、常に安全対策について考え、話し合い、同じ建物を共有している老人福祉センター職員と連携を図りながら、危険な箇所や遊具の点検を心掛けている。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

（5）本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	2	・ 地域の団体、関係施設と連携を取りながら、地域に根差した児童館活動を実施している。地域と行政を繋ぐ役割も果たしていくように努力している。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化など）		

（6）総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	25	／33

Ⅴ　その他自由意見